

1) 手指が示す数の数字を切り貼り。
 2) 数字のなぞり書きと、不等号の書き込み。不等号がか
 きにくい場合は援助。
 3) 数字が正確に書けるなら、切り貼りなぞり書きは不要。

a) 5~10の数の概念を多少の比較でとらえる。「どちらが多
 いか」は、数の最もコアな機能。
 b) 片手には指から本ある「の概念化は発達的重要な指標
 であるとともに、五二進法を使いこなす基礎ともなる。
 c) 手指の数表象は十進法の原点。

特定用具: 不要
 Date:



すうじをかいて、
 <か>でつなごう。

